

自主申告サポーター
学校が開かれる

全商連

11月25・26日の両日、
全商連自主申告サポーター学校が開かれました。令和7年分申告に向け「例題で学ぶ確定申告の仕組みと税金計算」と題し、25日は会員事務局含め7名が、26日は8名が参加し、所得税と消費税の税金の仕組みと計算方法を学びました。今後、白河民商でもサポート学校が開かれます。ご案内が届いている方はぜひご協力お願いいたします。

福島県婦協主催 一泊学習交流会 開催に13名



11月30日・12月1日(日・月)福島県婦協主催一泊学習交流会がしらかわ温泉弁天荘で開かれ、全県から33名が集い、白河民商婦人部員13名が参加しました。

午後1時半から始まり、全婦協会長の塚田豊子さんを招いて「女性差別撤廃条約総括所見から『所得税法56条』と『国保に傷病手当を』の運動」と題して講演を聞きました。「所得税法56条があると国保に出産手当ができないことを初めて知った」「国保に出産手当や傷病手当がないことに疑問を持たずにいた」と感想がありました。

夜の懇親会は替え歌を披露したり、○×クイズで盛り上がり民商音頭をみんなで踊って会場は大変盛り上りました。

2日目は「戦後80年の証言」DVDの鑑賞と、シンポジュウム「商売・人生・民商を語る」では矢吹西支部の長谷川タミ子さん(金物卸業)が商売にかかわってきた苦労と模索しながら事業継承になったこと、家族を支えながら趣味の水泳と出会ったことをお話しされました。酒井洋子部長の閉会あいさつで終了となりました。

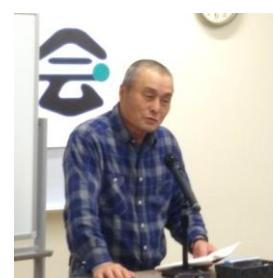


11月28日(金)18時30分から白河市産業プラザ人材育成センターにおいて「商売を語る会」が開かれ、35人の会員さんが集まりました。経営金融部会責任者で南條幸男白河民商副会長のあいさつのあと、西郷2支部の小山公子さんが「民商運動に参加して：」と題して民商活動に参加するまでと現在の活動について話をしてくださいました。個人の職歴から結婚して今の家業に就き、会社役員として記帳に携わりながら、婦人部の活動に参加した経験を素敵に語っていました。婦人部の役員の皆さんがあたたかな見守り、若手部員に参加してもらう

話はさらっとして、自分が調査を受けたとき一人で対応したこと、事業の敷地を税務署員が見て税金に直結したこと、国税が決まって一年分×三年分で税金が算定され、そのあとの地方税に苦しめられたことなど話されました。今回立ち会つた支部会員の税務調査で、多くの会員や役員が応援してくれた様子を、ホワイトボードを使って話をしていただきました。佐久間さん、ありがとうございました。

早く引き受けていただいた小山さん、

人部づくりに努力も垣間見えた感じがしました。これから確定申告時期がやってきますが、サポーターとして「自分の学んだことが役に立つなら頑張ってみよう」と意欲的に話していただきました。



次に、中畠支部で民商副会長の佐久間政和さんが「事業継承に成功して：」と題し継承したこと、国税を話していただきました。継承した後の話をさらつとして、自分が調査を受けたとき一人で対応したこと、事業の敷地を税務署員が見て税金に直結したこと、国

**12月11日(木)午後4時
無料法律相談**

希望の方は事務所まで連絡をお願いします

**12月11日(木)午後4時
要予約**

白河民商

発行所
白河市天神町28
白河民主商工会
TEL(27)3161